

2020年度 後期開講（2020年10月～2021年2月）

国立大学法人 静岡大学×I Love しずおか協議会

「教育」を通じた  
企業・大学連携

# 地域連携プロジェクト型セミナー 連携パートナー公募資料



国立大学法人  
静岡大学

National University Corporation  
Shizuoka University



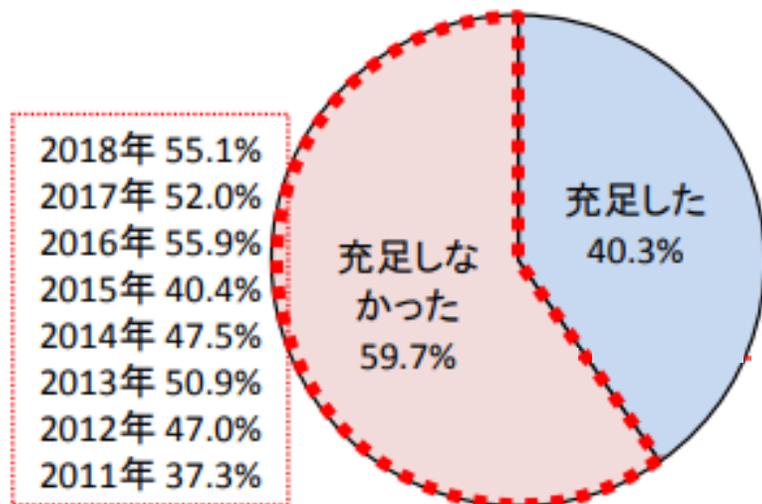
I Love しずおか

# 本授業の背景①静岡県内企業・団体の共通問題「人材不足」

企業やNPO団体など問わず、あらゆる団体で「人材不足」を実感。  
特に新卒採用においては、厳しさを増しています。

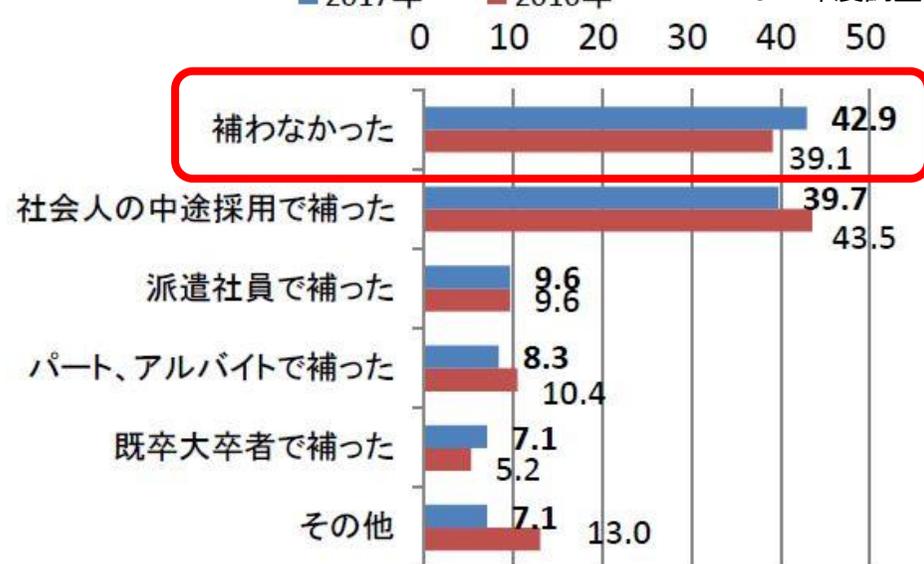
## 採用計画人数の充足状況 (n=360社)

2019年度調査



## 未充足分の補充について (n=139社)

2017年度調査



公益財団法人就職支援財団 静岡県における「新卒者採用の実態調査」及び「就職活動時の実態調査」集計報告書  
(2017年6月20日発表、2019年6月19日発表) より

新卒採用において、**半数以上の県内企業が計画人数まで採用できず、**  
**また、そのうち4割が未充足のままの状態が続いています。**

# 本授業の背景②大学だけで人材を育成できるのか？

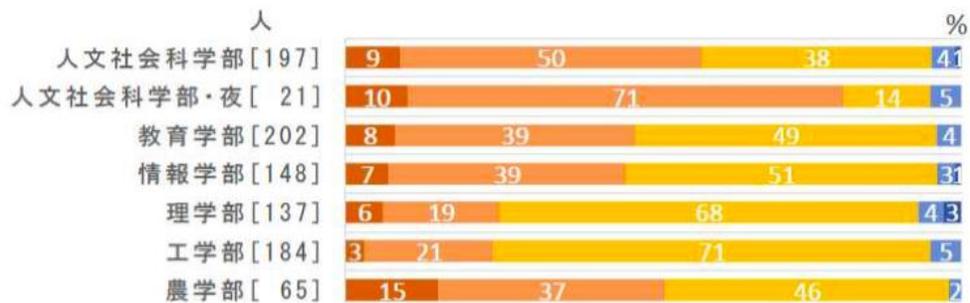
学生が地域・社会を「知る」「学ぶ」機会の不足。

また、全国平均に比べ、リーダーシップ、人間関係構築力をつける環境が不十分。

## 2016年度「学びの実態調査」より (平成28年度実施)

■大きく増えた ■増えた ■変化なし ■減った ■大きく減った

### ○ 地域社会が直面する問題を理解する能力



〔入学後の能力や知識の変化〕

4割～7割が変化なし

■大きく増えた ■増えた ■変化なし ■減った ■大きく減った

### ○ リーダーシップの能力



5pから7p拡大

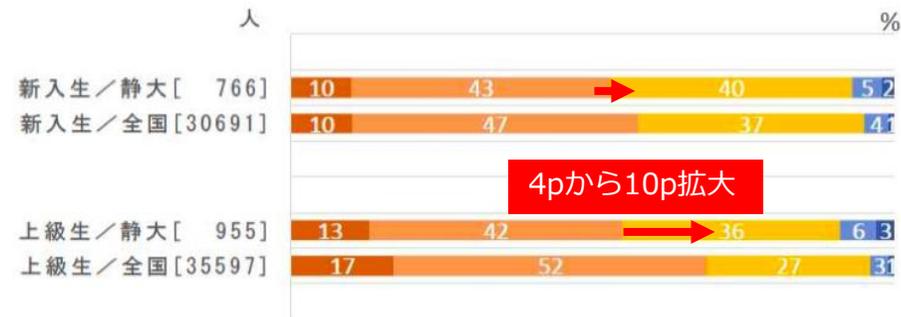
## 本学学生の声 (一部抜粋)

第2回学生生活実態調査報告書より (平成25年度実施)

この大学の傾向として座学ばかりでいざ社会に出た時に自分に自信を持って仕事ができるような経験を積むような機会が少ないと思います。大学内だけではなく実践的な活動がしたいです。  
【情報学部、男性】

もっと地域とつながるプロジェクトなどをする活動をしてほしい。  
【人文社会科学部、女性】

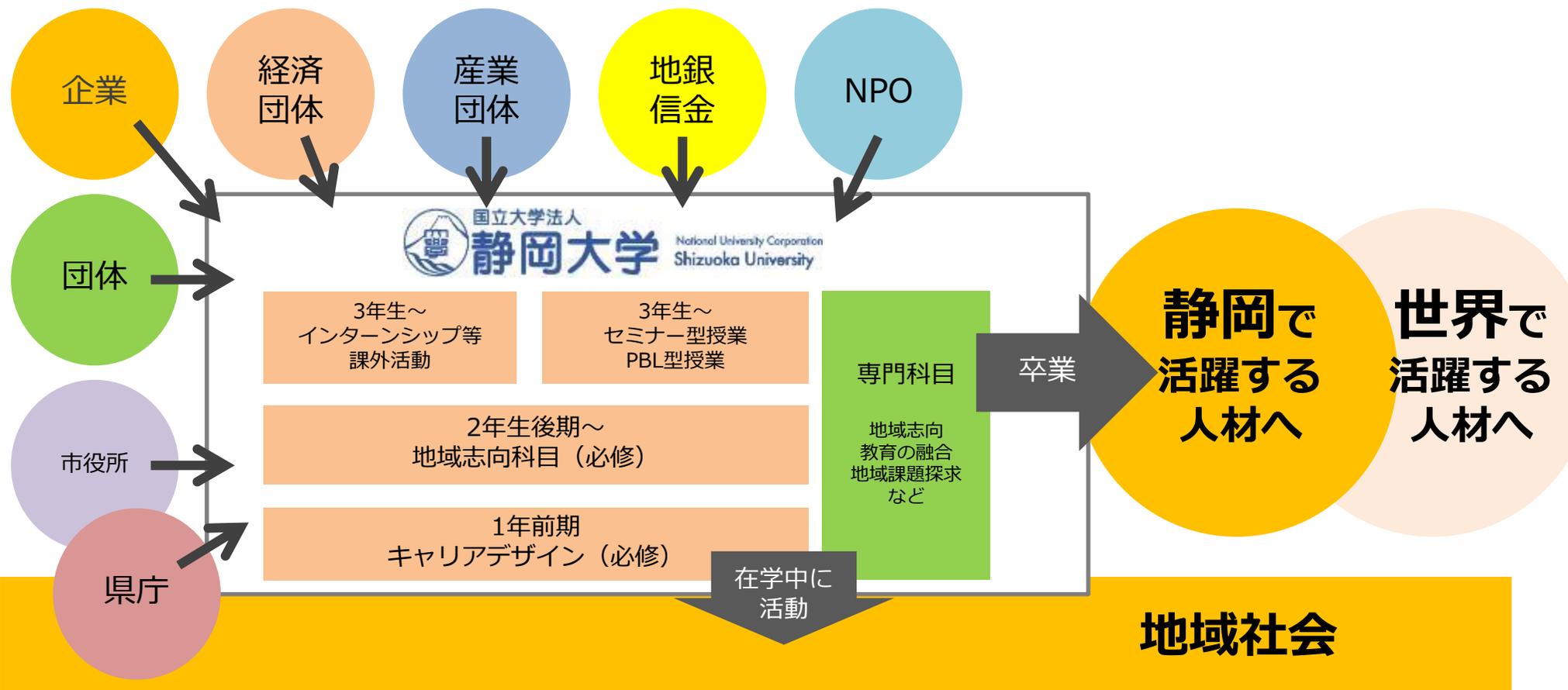
### ○ コミュニケーションの能力



4pから10p拡大

# これからの静岡大学として、目指したい姿

大学教育に地域のあらゆる企業・団体が関わる機会をつくり、その過程で育った学生が静岡や世界で活躍していくスキームを確立します。



行政・市民団体・経済産業団体等のお力を借りつつ  
地域・社会の未来をつくる人材を静岡大学は輩出します。

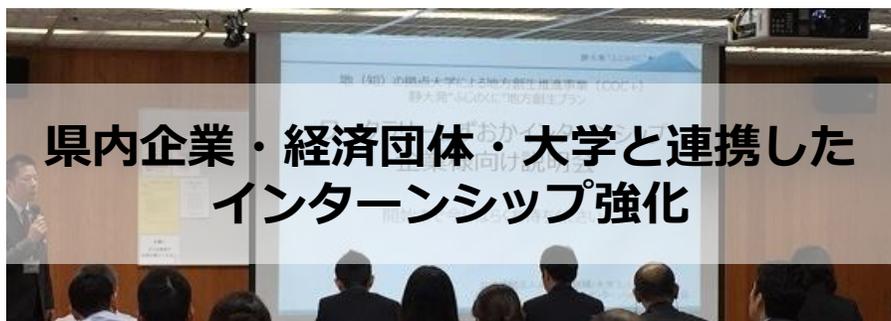
# ローカルに根差しながら、未来をつくる人材育成へ。

2017年には「地域志向大学」宣言を行い、全学をあげて教育改革にチャレンジ。  
今年度からは未来社会デザイン機構を設置し、分野横断型の研究活動を推進中。

静岡大学

地域創造学環  
SCHOOL OF REGIONAL DEVELOPMENT

地域のクリエイティブリーダーを育成します。



## 「地域志向」を組み込ませた教養教育プログラム



具体例

- 静岡信用金庫協会様・信用金庫様と連携した寄附講座の開発
- 外国人に英語で観光案内をする集中科目「英語インテンシブ」の改良
- 地域づくり副専攻コースの開設（平成29年度より）  
…全学部生向けに地域づくりを学べる授業を提供

国立大学法人  
静岡大学



### 静岡大学の「地域志向大学」宣言

静岡大学は、「自由啓発・未来創成」の理念に基づき、社会の中の一員として、社会に開かれた教育研究を推進するとともに、社会が直面する課題に協働して取り組み、成果の発信と共有及び知と価値の共創を通して社会に貢献します。

また、知（地）の拠点として、地域社会と学生・教職員が相互に啓発しあう関係を構築するとともに、地域との協働による課題解決を通して、地域社会の価値の創造と持続的な発展に貢献します。

このため、以下の方針を本学の学生・教職員、そして何より地域の皆様と共有し、地域を志向した大学改革を推進することを、学長としてここに宣言します。

1. 地域の多様な人々との連携・協働により、全学学士課程横断型プログラムである「地域創造学環」をはじめ全学的に地域志向教育を充実させ、地域を創生する人材を育成します。
2. 学生が地域づくりの一員として、自由闊達に地域の人々と交流し、学びあい、地域課題の解決に向け連携・協働する取組を進めます。
3. 地域イノベーションをリードする人材の育成や産官学金連携による共同研究、ベンチャー企業への活動支援等を通して、地域の新産業・雇用の創出や学術文化の発展に貢献します。
4. 地域社会に根ざした国際連携を推進し、「アジアブリッジプログラム（ABP）」を中心として、地域社会とアジア、そして世界とをつなぐ、人や文化・産業の橋渡しの役目を果たします。

平成29年7月13日

静岡大学長

石井 潔

# 静大生とともに 中心市街地の問題を 解決するプロジェクトを企画し、 実践する授業をつくりませんか？

会員企業様がお持ちの知見、資源を活用して、  
静岡市中心市街地“おまち”が抱える問題を解決し、新しい価値創造を目指した  
プロジェクト企画し、静大生とともに取り組むことができる。

それが「地域連携プロジェクト型セミナー」です。

2017年からの3年間で15プロジェクトが生まれ、94名の学生が参加し、  
おまち、静岡市の地域の困りごとと向き合ってきました。

# 「地域連携プロジェクト型セミナー」とは？

学生が連携先から与えられたテーマを元に  
課題解決方法と静岡の地域・産業について学ぶ、全15回の実践型教養科目です。

6月～8月

10月

10月～21年1月

21年2月

授業開始  
チーム結成

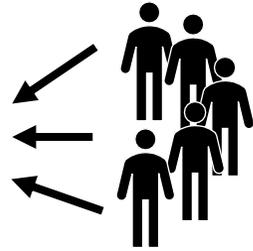
授業・プロジェクト実践

成果報告

テーマ設定



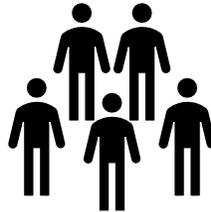
連携企業



静大生  
(2～3年生)

僕もやりたい!

私も!



チーム結成  
授業開始



連携パートナー企業主導で  
プロジェクト型授業の実施



座学

調査

企画

実施

反省

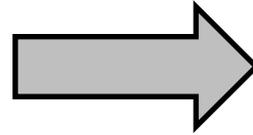
学び

成果報告会



# 1回の授業の進み方のイメージ

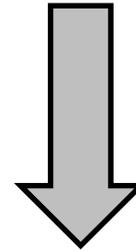
① 前回の振り返り・今日の進め方の確認 (10分~15分)



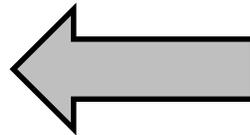
② チームで作業・議論・試作など (60分)



補足的な講義の実施など



④ 調査・作成など宿題の実施 (課外)



③ 次回までの  
役割分担や  
宿題の確認  
(10分~15分)

コメント  
ペーパーの  
記入



# どんなテーマを扱えるのか？

I Love しずおか協議会が求める基準×企業が抱える課題や取り組みたいことから、テーマ設定を行っていただけます。テーマづくりから本学コーディネーターが支援します。



## ■ テーマ設定の基準について ■

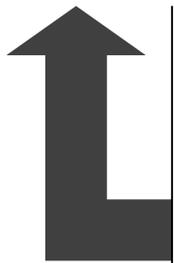
静岡市中心市街地に関わるテーマを推奨し、以下の3つの基準をすべて満たすこと

**基準① そのテーマの追求が、静岡市にとっての社会的価値を高めるか**

**基準② そのテーマの追求が、静岡市の交流人口・定住人口の増加につながるか**

**基準③ 本授業の趣旨に賛同し、大学側の方針に従って学生の指導を実施できるか**

推奨例…プロジェクトのフィールドワークや実践の場としておまちを活用、テーマ追究が静岡市中心市街地の活性化に寄与する



**上記を踏まえて、テーマ設定を行っていただきます。**

※この段階から本学コーディネーターがサポートに入らせていただきます。

例えば…

- おまちの空き店舗を活用した活性化プランを実行しよう
- 静岡で働きたくなる働き方ブックをつくろう
- スポーツ×商店街でにぎわいをつくるイベントを企画しよう …など

# この授業で目指したいこと

## 求める 成果

地域に関わり、地域を理解し、コミュニティの一構成員として、  
地域の問題を実感・体験を通じて、地域課題解決型人材を育てる。

## 経験 させたい 機会

### 問題解決の思考・方法／業界の現状などリアルな社会を知る

企業では問題に対してどういったアプローチを行うのか、といった実社会のリアルを学び、  
実際に実践で試し、どんな反応を地域社会が見せるかを知る

### 「社会の目」から見た自分自身の評価を知る

チームでの取り組み状況やプロジェクトの実践を通じて、学生自身がとった行動に対して、  
企業の社員の目から見た評価を実施し、学生自身にフィードバックする

### 「個人」ではなく「チーム」でプロジェクトに取り組む

グループワークを通じて、役割分担、進捗確認、議論など、協力して物事を進める力を養う

## 授業を 通じた 目標

**学生自身の成長** 実践と反省を繰り返しながら、全員が1歩でも成長を。

**知見・学びの地域への還元** 知見・学びを新たな地域の価値に。

**連携パートナー企業の価値向上** 連携の価値を生み出す。

# 連携パートナーが得られる価値

「企業イメージ向上」「若手社員のモチベーション向上」「事業に活かす種」の3つの価値の提供を目指します。

3年目の若手社員など、学生へアドバイスやフィードバックを行うことで、社員自身の業務の棚卸にもなり、モチベーション向上や仕事への取り組みにプラスになります。

**社会貢献による  
イメージ向上**

「寄附講座」という名前で地域人材育成への投資として、各種学内・学外広報物へのご社名を掲載いたします。

**若手社員・  
人材の業務の  
棚卸・研修**

**大学・企業  
連携による  
課題解消**

企業単独では難しくても、大学と連携することで課題の解消を実現します。

# 2017年度～2019年度の実績

15プロジェクト・94名の学生が参加。  
協議会・連携パートナー等皆様のお力添えがあり実現できた授業でした。

	連携パートナー	プロジェクト	受講人数	チーム数	アウトプット	年度
I Love しずおか 協議会 会員 テーマ設 定型	アルバイト タイムス	静岡でゆるかっこよく働いて暮らすことの魅力 が伝わる求人広告をつくろう	10名	2チーム	求人ニーズのある企業2社の 求人広告を作成・反応分析	2017
	松坂屋静岡店	次世代の百貨店 プロモーション戦略を考えよう	8名	2チーム	自分たちが考えた企画を 静岡店店長へプレゼンテーション	2017
	静岡博報堂	静岡茶を元気にしよう	11名	2チーム	静岡茶の消費を拡大するアイデアを 考案し、連携店へプレゼンテーション	2017
	アイワ不動産	シェアハウスを活用して 若者の交流・定住人口を高めよう	4名	1チーム	地域に貢献し学生も住みたくなる シェアハウスを企画し地域住民へ プレゼンテーション	2017
	静岡新聞社 ・静岡放送	地域メディアが展開するフェスや スポーツイベントを通して、 地域課題と向き合おう	5名	1チーム	静岡祭りに学生参加を促すアイデアを 考え、実行委員会へプレゼンテーション	2017
	静岡博報堂	静岡茶を元気にしよう ver2	5名	1チーム	若者向けの静岡茶の飲み方を企画し、 テスト販売を実施	2018
	松坂屋静岡店	ビジネスしよう	7名	2チーム	おまちを活性化するビジネスプランを 静岡店店長にプレゼンテーション	2018
	NECネット エスアイ	ICTを活用し、 会議から働き方を変える	3名	1チーム	会議を変える方法を考案し、 企業へプレゼンテーション	2018

# 2017年度～2019年度の実績

15プロジェクト・94名の学生が参加。  
協議会・連携パートナー等皆様のお力添えがあり実現できた授業でした。

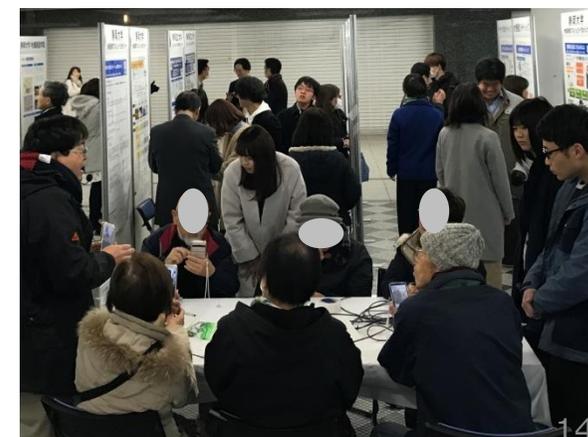
	連携パートナー	プロジェクト	受講人数	チーム数	アウトプット	年度
I Love しずおか 協議会 会員 テーマ設 定型	ベルテックス 静岡	スポーツを活かした街づくり・ 教育プロジェクト	7名	2チーム	街中施設・競輪場とコラボレーションした プロモーション案を実施	2019
	静岡市 都市計画課	青葉シンボルロード、静岡駅北口広場の にぎわいプロジェクト	8名	1チーム	青葉シンボルロード（公共空間）での人が 集う企画を立案し実施	2019
	静鉄タクシー	短距離移動困難者のローカルモビリティ利活用	3名	1チーム	タクシーを活用して田町エリアで乗り合いタ クシーの実験を実施	2019
	静岡伊勢丹	静岡伊勢丹と商店街が連動した 新しいビジネスを開発しよう！	9名	1チーム	商店街と来訪者をつなぐ体験ツアー「ごふく pic」を開発、試験実施	2019
大学 テーマ 設定型	須藤研究室	地域活性化に繋がるシニア向けスマートフォン 講習会を企画しよう	7名	1チーム	シニア向けスマートフォン講習会を 企画し、シニア対象に実施	2017
	須藤研究室	地域活性化に繋がるシニア向けスマートフォン 講習会を企画しよう	4名	1チーム	シニア向けスマートフォンサロンを 企画し、シニア対象に実施	2017
	宇賀田研究室	大学生の、大学生による、大学生のためのシン グルペアレント支援セミナープログラムを開発 しよう	3名	1チーム	ひとり親の現状を知り、予防策を考える 大学生向けキャリア授業を実施	2018

# 2017年度～2019年度の実績

15プロジェクト・94名の学生が参加。  
協議会・連携パートナー等皆様のお力添えがあり実現できた授業でした。

## 授業風景（座学・グループワーク・プレゼンテーション・実践の様子）

初回ガイダンスから全15回の授業を実施（学外でのフィールドワーク含む）



# プロジェクトの公募から授業実施・報告会の流れ

プロジェクトの公募→学生募集→授業実施→最終報告会と続きます。  
**最小4名の学生応募で、プロジェクト成立となります。**

※プロジェクト公募後、4名に満たなかった場合、大変恐縮ですが、実施を見送らせていただきます。  
※学生の応募が多く、また連携先の受け入れの余裕によって、複数チームをつくることも可能です。

**7月～9月 個別相談・プロジェクト検討**  
個別相談をオンライン・対面で実施しておりますので、検討されている方がご活用ください。本学コーディネーターがご説明・プロジェクトを共に設計いたします。



**正式申込み**

**締切：8月21日（金）**

**履修登録・プロジェクト成立**

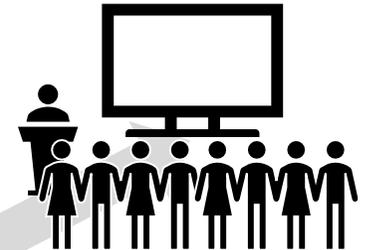
**10月5日 ガイダンス**  
初回授業ガイダンスにてテーマと授業計画のご紹介をしていただき、学生の希望調査をします



**授業実施**

**2月 最終報告会**  
4か月の成果と学びを学生が発表し、自分たちの学びを振り返ります。静岡市街中を会場かオンラインにて開催予定です。

**最終報告会**



**10月12日（水）第2回  
～2月1日（月）第15回**  
この間、全体合同授業（オリエンテーション、中間報告等）も行われます。また、連携パートナー向けのFD研修、連携先連絡会も実施予定です。

# 2020年度授業計画について 一講義日程

新型コロナウイルスの感染状況によって  
運営方法、スケジュール変更の可能性があります

- ・毎週月曜日の5・6限（12：45～14：15 | 90分） 共通L棟305 or 学外で実施します  
※学生との都合によって、授業外の課外という位置づけで、月曜以外に調査や実践も可能です
- ・進捗によって授業内容の変更も行うことができます。また、オンラインでの実施や一部学生のみで実施も可能です
- ・第1回、第15回の授業は大学が進行して行います

回	日程	授業進度計画	進行	補足・理想的な段階
1	10/5 (月)	ガイダンス	静岡大学	ガイダンスにてテーマと内容を学生へプレゼン後、受講学生を決定
2	10/12 (月)	連携企業授業開始	連携パートナー	チーム形成/役割分担/ゴール設定
3	10/19 (月)	↓	連携パートナー	テーマ・業界理解/アイデア出し等
4	10/26 (月)	↓	連携パートナー	
5	11/2 (月)	↓	連携パートナー	
6	11/9 (月)	↓	連携パートナー	企画立案・ブラッシュアップ 調査・フィールドワーク・実践
7	11/16 (月)	↓	連携パートナー	
8	11/30 (月)	↓	連携パートナー	
9	12/7 (月)	↓	連携パートナー	
10	12/14 (月)	↓	連携パートナー	
11	12/21 (月)	↓	連携パートナー	冬休みを有効活用を検討・実践等
冬休み期間		宿題の実施	連携パートナー	
12	1/4 (月)	↓	連携パートナー	
13	1/18 (月)	↓	連携パートナー	
14	1/25 (月)	↓	連携パートナー	実践・検証
15	2/1 (月)	振り返り会	静岡大学	
2月中		最終報告会	静岡大学	4か月の学びを言語化/授業アンケート記入 4か月の成果を発表 ※発表方法は未定

どんなプロジェクトを  
立案し実施するか  
が定まる

プロジェクトの進め方  
が定まり、  
実践にうつる

実践を振り返り、  
ブラッシュアップ  
する

# 大学生の成績評価について

学生の期間中のプロジェクトへの取り組みについて、連携パートナーの皆様からも  
学生別で評価をしていただきます。

## 連携パートナーによる評価シート（2020年度案）

評価項目	1 改善すべき点が多い	2 やや物足りない	3 評価できる	4 期待を超える	回答
授業・プロジェクトに対する意欲	例：自ら進んでプロジェクトに取り組もうとせず、周囲にもマイナスな影響を与えていた	例：自ら進んでプロジェクトに取り組むことが少なかった	例：自ら進んでプロジェクトに取り組むことができた	例：自ら進んでプロジェクトに取り組むだけでなく、周囲にもプラスに影響を与えていた	
役割の自覚とコミットメント	例：チーム内での役割の自覚はなく、チームに貢献しようとしなかった	例：チーム内での役割の自覚は薄かったが、チームのために努力した	例：チーム内での役割を自覚しその役割を発揮しチームに貢献した	例：チーム内での役割を自覚しその役割を発揮するだけでなく、不足する役割も担う働きをした	
宿題への取り組み	例：宿題を提出しないことが多かった	例：毎回必ず宿題を提出した	例：毎回必ず宿題を提出し、内容もおおむねできていた	例：毎回必ず宿題を提出するだけでなく、予想を超える内容だった	
振り返りと改善	例：授業の振り返りができていなかった	例：授業の振り返りはできるが深い省察や改善点の発見が見られなかった	例：コメントペーパーなどではしっかりと授業を振り返ることができた	例：コメントペーパーなどではしっかりと授業を振り返り、改善点にも触れる内容が多かった	
社会人とのコミュニケーション	例：コミュニケーションを取らなかった	例：質問されれば答えるなど、消極的ではあるものの、面と向かって答える努力をしていた	例：報告・連絡・相談は当たり前に行え、積極的に話げできた	例：積極的に話げでき、相手からのフィードバックなどに対して自分の考えを述べることができた	

※みなさまの評価のみで成績は決定されません。

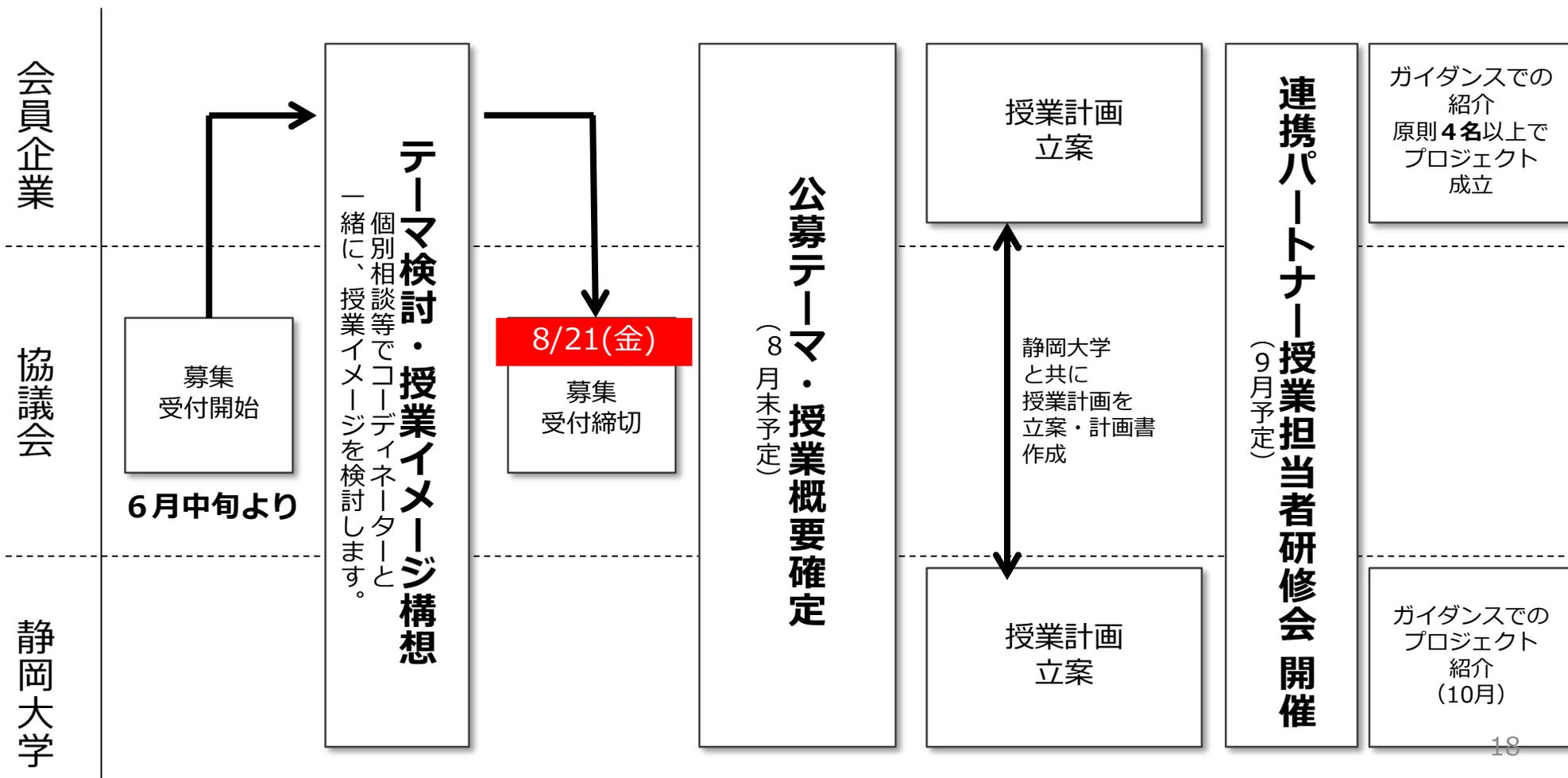
出席日数、レポート課題の評価も加味して、成績を決定いたします。

# 授業開始までのスケジュール

- ・まずは個別相談で授業詳細やプロジェクト内容をお気軽にご相談ください。授業計画やプロジェクト概要を固めた上で**8月21日(金)**までに申込書をご提出いただきます。
- ・9月中に授業担当者を集めた連携会議・合同研修会を実施予定です。

## 連携パートナー募集期間

## 授業準備期間



# 本授業の新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ油断はできない状況と捉えております。  
静岡大学では以下のように対応を進め、柔軟に授業を運営していきます。

## ■6月8日時点の対応状況について

- 「新型コロナウイルス感染症における静岡大学活動指針レベル」を制定し、段階的に対応レベルを引き下げて対応
- 6月8日時点では、在宅授業（オンライン・オンデマンド）を継続し、マスクの着用、入室時の手洗いうがい、教室内でのソーシャルディスタンスの確保等感染防止措置の上対面型の授業を一部実施 ※活動指針レベル3
- 引き続き、状況を判断しながら、段階的にレベルを引き下げていく

## ■後期（10月～）における対応について

- 引き続き、活動指針レベルに基づいて授業実施方法を決定。現時点では、感染防止措置を取りながらの対面授業を実施する
- 連携パートナーの運営方法の意向も踏まえながら、オンライン（リアルタイムやオンデマンド）での実施も可能とする（ただし人数規模や授業内容によって実施方法はコーディネーターと検討）
- 2021年2月中旬に実施予定の報告会は、例年、静岡市中心市街地内で対面開催しているが、状況によってオンラインでの開催、配信での実施も検討する

# 個別相談先・お問い合わせ

個別相談は日程・実施場所だけでなく、オンラインでの実施など、ご希望に合わせて調整いたします。お気軽にご連絡・ご相談ください。

## 個別相談会について

期間：6月22日（月）～8月21日（金） 平日 9:00～17:00の間でご希望の時間帯  
※日程によっては調整いただく場合がございます。

時間：約1時間～1時間30分を予定

会場等：静岡大学や予約者事務所、オンラインなどご希望の場所で開催いたします

担当：静岡大学大学教育センターPBLコーディネーター 天野浩史

予約方法：下記アドレスへメールにて、ご希望の日時・会場をお送りください  
(複数候補日をいただくと幸いです)

**[amano.hirofumi@shizuoka.ac.jp](mailto:amano.hirofumi@shizuoka.ac.jp)**

## I Loveしずおか協議会へのご質問等はこちらへ

I Love しずおか協議会事務局  
担当／高木

Mail :[info@iloveshizuoka.jp](mailto:info@iloveshizuoka.jp)  
TEL :054-252-7720